

かわごえ 議会だより

No.172

令和4年5月1日発行
三重県川越町議会

かわごえ議会だより No.172 2022.5.1



令和4年1月臨時会 令和4年3月定例会

町長施政方針	2~3
令和4年度予算・注目事業	4~5
予算委員会Q&A	6~7
議決結果・あらまし	8~9
各委員会報告・Q&A	10
モニターご意見	11
決議案	12
提言書	13
一般質問(5議員)	14~19
まちの元気な人・町の話 他	20

フォト川越・平田様より提供

発行 三重県川越町議会 〒510-8588 三重県三重郡川越町大字豊田一色280
編集 議会広報特別委員会 TEL059-366-7150 FAX059-366-2221
Eメール kagi@town.kawaage.nie.jp
ホームページ https://www.town.kawaage.nie.jp/

まちの元気な人

トマト

私たちは食生活改善推進員OG有志で発足した調理ボランティアです。

これまで、町社会福祉協議会の実施する高齢者交流会や介護予防事業等にて料理やお菓子づくりをしてきました。子どもたちと一緒に行う体験教室では、地域のおばちゃんとして接しています。喜んでもらえる自分も嬉しい、笑顔がみられれば自分も笑顔にと、その繰り返しで私たちが糧になっています。

会員は10年を超える人から数年目の人まで幅広いですが、いつも和気あいあい。今は活動の制限を余儀なくされていますが、共に調理をする時間が楽しく、いつでも活動再開できるように時折仲間が集まり、試作に励んでいます。CCNetでスイートポテトづくり講座の講師にもチャレンジしました。活動再開時には新たな仲間も募集します！料理好きな方、お気軽に町社会福祉協議会までお問い合わせください。



スイートポテト作りの様子

川越町古文書サークル

川越町古文書教室に参加していた有志が、教室終了後に結成しました。当初は、メンバーだけで勉強していましたが、古文書講座として四日市市博物館副館長の廣瀬毅先生をお招きして、スタートしました。

コアのメンバーは7人です。古文書講座は四日市市、桑名市、朝日町の方も参加しています。現在は定員いっぱいですが空気がなく、お待ちの方も見えてご迷惑をおかけしています。

講座の内容は、「最終的に古文書を読んだ気になろう」というのがみんなの目標です。南福崎の片山家の古文書を中心に学習していますが、拾遺都名所図会で当時の生活を読み解いたりしています。

江戸時代の川越町の状況、生活、生き方などがわかって面白いですよ。ご興味のある方はお問い合わせください。



令和4年度は3年目に入りました。中央公民館で学習しています。お問い合わせは生涯学習課までお願いします。

町の話

ミュージックチャイム

ミュージックチャイムをご存知ですか。町内の行政放送で「正午と夕方」に聞こえる音楽です。いつも時計がなくても、時間を教えてくれる優しい曲です。

このミュージックチャイムが、4月から夕方方の時間が「6時↓5時」に変更になりました。まだ困惑されている方もいるのではないのでしょうか。生活様式の変化や公園などで遊んでいる子どもたちに変更に気づきました。

子どもたちも遊んでいると、時間を忘れてしまいがちです。5時に聞こえるミュージックチャイムを目安に帰宅することで、防犯対策にも繋がると思っています。皆様のご協力で、町内の子どもたちが成長する姿を地域で見守りたいですね。

寺本 由美(記)

編集後記

風薫る季節となりました。新社会人、新入生など、新たな環境には慣れましたか？このコロナ禍においては、テレワークやリモートと言ったコミュニケーションツールが進化しましたが、なにか物足りなさを感じるのには私だけかな。これからは対面でコミュニケーションができ、友人、知人の輪を広げたいものです。早く新型コロナウイルス感染症が収束し、世界平和がおとずれことを願います。

今年度も読みやすく親しみやすい議会だよりの紙面作りに広報委員一同努めて参ります。これからもよろしくお祈りいたします。

森 英郎(記)

お知らせ 令和4年 第2回 定例会予定

月	火	水	木	金	土	日
6/6	7	8	9 本会議 (開会)	10	11	12
13	14 総務建設 常任委員会	15	16	17 本会議 (閉会)	18	19

傍聴することで町政への知識を深め、町議会の活動方針を知ることができます。(現在コロナ対策として、傍聴人数の制限を行っています)また、本会議当日は、役場1階ロビーのテレビにて、議会の模様をご覧いただけます。町ホームページでは、過去の会議録(本会議のみ)が閲覧できます。また、6月議会終了後、録画映像の配信を現在計画しています。



「施策の根を広げ、支え、成長していく予算」として編成し、第7次総合計画の2年目となる令和4年度においても、「ずいぶん」と暮らしたいまち」の実現に向けて取り組んで参ります。

重点施策1

「暮らしを守る安全なまちづくりの推進」

防災・減災対策

当新田・豊田の両水防倉庫を、指定緊急避難場所として必要となる備蓄品の整備。

「体験型避難所設営訓練事業」

として、実際の災害を想定した1泊2日の訓練を実施し、自主防災組織をはじめとする町民の皆様と町職員の連携強化を図るとともに、防災技術の向上に繋げる。

防災行政無線の放送内容をメールで配信するサービスを開始。

防犯対策

「第2期防犯カメラ設置基本計画」に基づく防犯カメラの増設。

重点施策2

「途切れない子育てと学びの推進」

「子ども医療費助成の受給対象年齢」を18歳になった年の年度末までに拡大。実施時期については、令和4年度に拡大に向けた準備を行い、令和5年4月診療分からの実施を予定。

保育所・幼稚園に「保育用ICT機器」を導入しインターネットを利用した欠席連絡の受付や「お知らせ・お便り」の配信等、保護者の負担軽減と保育業務の効率化を図る。

小学校と幼稚園の学校給食において、民間委託による調理を開始。

中学校整備事業においては、令和4年度以降、具体的な設計に着手し、令和9年度供用開始に向けて進める。

重点施策3

「元気に活躍できる健康づくりの推進」

「安心して結婚・子育てができる環境づくり」を掲げ、「子どもを持ちたい」という思いを支援するため、令和3年度から「特定不妊治療費の所得制限」を撤廃し、生まれてきたお子さんに対して、疾病の「早期発見・早期治療」「発達と発育」の確認を目的に、現在任意で実施の「1か月検診」を公費により実施し、子どもたちの健やかな成長を支援。

重点施策4

「多様な主体による地域活動の推進」

活動拠点である、地区公民館の設備及び施設を改修し、長寿命化を図るため、令和4年度は、「亀崎・亀須・上吉」3地区の公民館の改修に向けた実施設計を行い、令和5年度以降は、実施設計が完了した公民館の改修工事と翌年度改修を行う地区の実施設計を並行して進める。毎年度、概ね3地区

の公民館を改修していくことを計画。

ボランティアの活動拠点施設の老朽化が進み、今後の活動を維持し、活性化していくためには、拠点施設の整備が必要で、令和6年4月の開設に向けて進める。

地域づくりに寄与する活動団体への助成事業の開始。

町内在住外国人の困りごとや地域や行政へのニーズを把握するため「多文化共生社会実態調査事業」の実施。

重点施策5

「スマート自治体の推進」

「議会広報事業」として、時代のニーズに応じた新たな事業として、議会映像の配信。

デジタル化社会に対応していくため、「子育てと介護分野」において、行政手続きのオンライン申請管理システムを導入。

LINE（ライン）を活用した行政情報の発信を行い、アプリを介して休日・夜間を問わず、スムーズな行政手続きなどができる環境を整備。

施政方針

基本方針1

安全で快適な暮らしができるまちづくり

「防災・消防・救急」

「防災対策」 昨年公表された「避難情報に関するガイドライン」の改訂内容を反映させるとともに、新たに津波避難施設をハザードマップに表示する改訂を行う。

「交通安全・防犯」 亀須地区の消防車庫を公民館敷地内に新たに建設。

「第2期防犯カメラの整備事業」については、危険箇所や交通量の多い場所など、より効果的な設置に向けて増設。

基本方針2

便利で活気ある暮らしができるまちづくり

「市街地・住環境」

「空家対策」 空家等対策計画を策定した当時より空家の現状が変化してきており状況に応じた空家対策に取り組む。

「道路・交通」

町内の移動手段である「ふれあいバス」について

は、令和5年度からの運行見直しに向けて、三重大学と共同で、効率的で利便性の高い運行形態、運行ルールを検討。高齢者の方を対象とした新たな地域公共交通として、デマンドタクシーの導入を検討。

基本方針3

支え合いで安心な暮らしができるまちづくり

「保健・医療」

子育て世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもが生まれ、成長し、成人を迎えるまで、令和5年4月診療分から「子ども医療費助成の受給対象年齢」を現行の15歳年度末までを、18歳年度末までに拡大。

5つの基本方針

基本方針4

人を育み心豊かな暮らしができるまちづくり

「学校教育」

両小学校トイレの洋式化を実施。中学校整備事業を計画的に進めていく。

基本方針5

協働と信頼のまちづくり

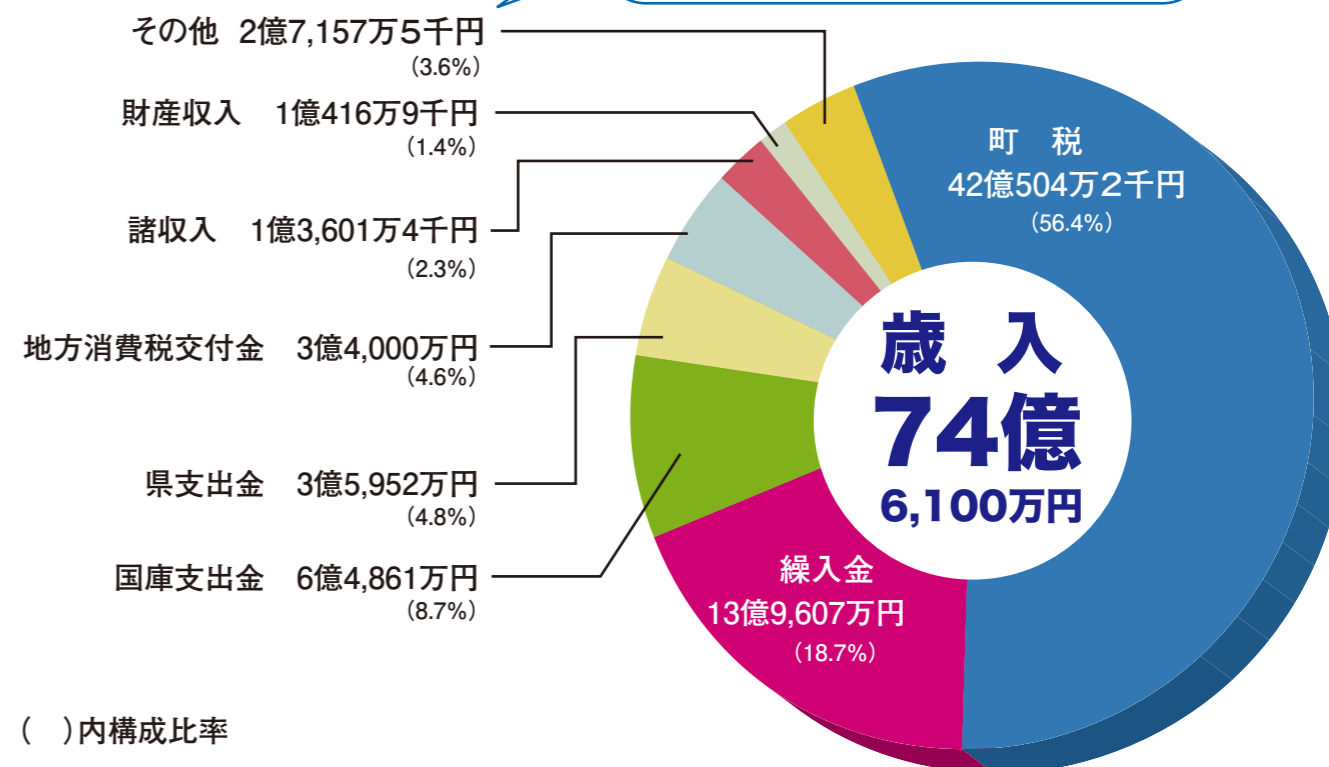
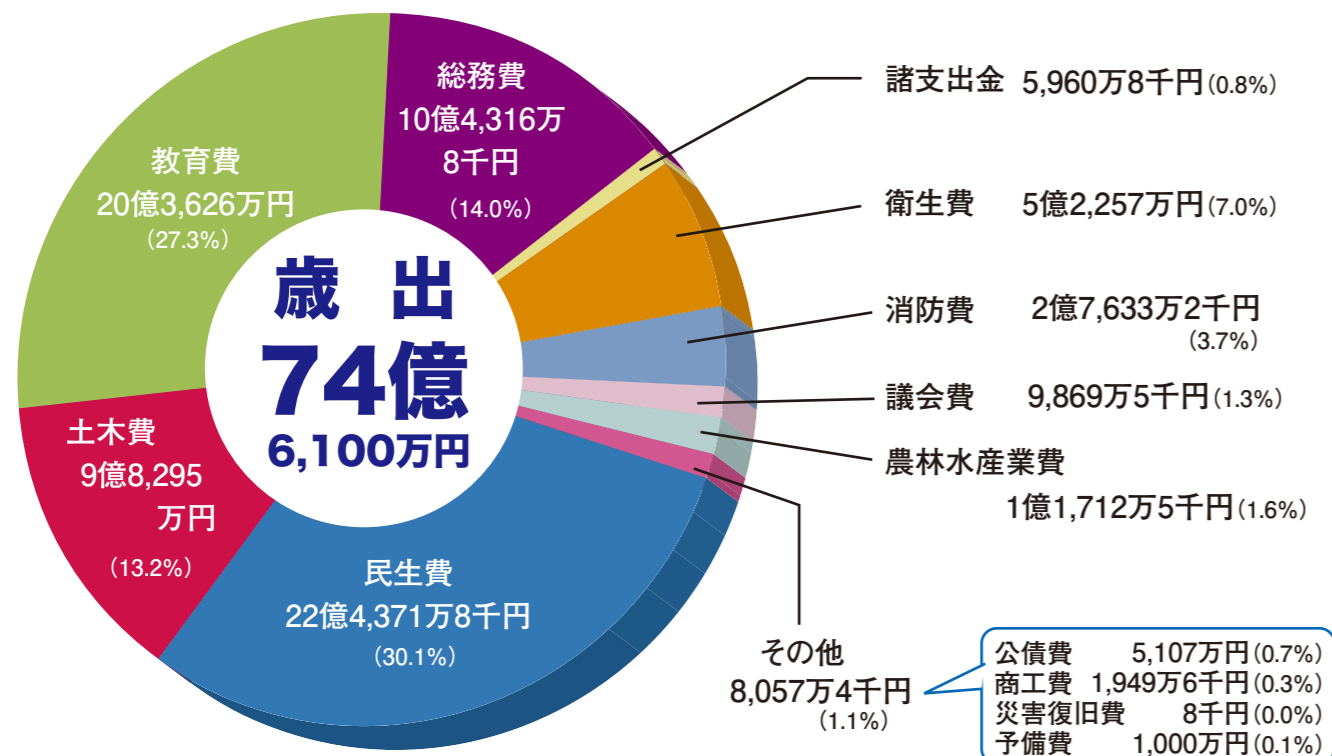
「地域活動」

地区公民館の長寿命化に向けた改修を計画的に進める。



令和4年度 一般会計予算決まる!

地方譲与税	5,285万8千円(0.7%)
分担金及び負担金	4,325万4千円(0.6%)
利子割交付金	250万円(0.0%)
配当割交付金	1,000万円(0.1%)
株式等譲渡所得割交付金	650万円(0.1%)
法人事業税交付金	2,300万円(0.3%)
自動車取得税交付金	1千円(0.0%)
環境性能割交付金	470万円(0.1%)
地方特例交付金	1,300万1千円(0.2%)
地方交付税	500万円(0.1%)
交通安全対策特別交付金	184万円(0.0%)
使用料及び手数料	3,272万円(0.4%)
寄附金	120万1千円(0.0%)
繰越金	7,500万円(4.0%)



()内構成比率

令和4年度 注目事業

〈体験型避難所設営訓練事業〉 251万円

・避難所の開設を円滑に進めるよう住民と協働して訓練を行うとともに、1泊2日で避難所での生活を体験する場を提供し、防災意識の高揚を図ります。

〈保育用ICT機器整備事業〉 157万円

・幼稚園、保育所の業務負担を軽減することで質の高い保育を安定して提供するために、業務支援システムを導入します。

〈防犯カメラ設置事業(第2期)〉 8,767万円

・今年度は58台設置され、合計99台設置されることとなります。

〈議会映像配信事業〉 78万円

・議会での審議を町民の方々に広く知ってもらうため、議会の動画映像を町ホームページにて公開します。

〈まちづくり活動団体助成事業〉 68万円

・協働のまちづくりを推進するため、地域課題等の解決を目的に自主的に活動する2団体に対し、補助金を交付します。

〈社会福祉施設等建設事業〉 1,754万円

・ボランティア拠点施設を整備するため、建設予定地を選定し設計を行います。

予算特別委員会 Q&A

Q 会計年度任用職員が232名でR3年度補正予算から、21名の減になっている。どこが減っているのか。

A 主に保育士であるが、フルタイム会計年度任用職員で採用できなかった部分をパートタイムで補ったため、R3年度の人数が伸びている。

Q 環境整備基金が各地区なくなってきた。今はコロナで地区の事業をやっていないが、将来的に会計が逼迫してくる地区もあり、地区振興助成金に関して将来を考えた場合に増額の考えは。

A 元々環境整備事業基金は20年間を目安に5%の取り崩しを行ってきたおり、長期的な視点で各地区がその財源を基に力を付けていただくという事を取り崩しを行ってきた経緯がある。助成金を上げるのではなく、区長へ町だけの財源ではなく自治会費も大きな

財源であるので見直しをお願いしながら経過をみている。また、自治会費を見直して対応して頂いているところもある。

Q 町で加入する総合賠償保険の内容は。

A 町の過失、業務に起因する事故について損害賠償が必要な場合について支払われ、予防接種や個人情報漏えいも含まれる。保険の金額については、身体賠償最高2億円、物損最高1億円、新たにサイバー保険にも加入し、情報漏えい等による損害に対する賠償、対策費用についても対象となり最高2億円となっている。その他町から依頼している事業についても保険の対象となる。

Q 幼稚園、小学校、中学校なども対象となるのか。

A 町に過失があった場合は対象となる。

Q まちづくり活動団体助成事業として、協働のまちづくりを推進するため、地域課題等の解決を目的に自主的に活動する団体に補助金を交付すると言ふことで2団体分が計上されている。具体的にどんな団体を指しているのか。

A 今、考えている対象となる団体は、既存の団体も新たな団体も対象と考えている。町からの補助金を活用して活動している団体は対象外としている。

Q ふれあいバスを含めたアンケートを実施し、デマンド交通に関する意見も多数あったと思うが、それに対する実証実験は。

A デマンドタクシーについては、ふれあいバスと別の公共交通になるため、公共交通会議の中で調査研究していくものになる。

Q 多文化共生社会の実態調査業務というのがありますが、実態調査するのは何件くらいあるのか、生活状態が違うので、母国語で実態調査するのか、どのように実施するのか。

A 町内に住む外国人に対しアンケート調査となる。R2年11月現在620人の住民登録がある。日本語では出来ないで母国語に翻訳してアンケートを送る。発送だけではなかなか回収率があがらないので外国人が勤めている企業に協力を依頼したり、よく行くお店へ出向きアンケートを実施したいと考えている。

Q 第2期防犯カメラは何台でどのあたりか。

A 台数は58台で場所は町内に散らばっており、警察やPTA、区長に相談して場所を決めている。

Q 工事完了予定は。R4年度末を目指している。

A 小学校トイレの洋式化について、様式化率はどれくらいになるのか。

A 北小学校52・3%から63・1%になる、南小学校54・2%から74・7%になる予定。

Q 地区公民館改修の設計業務、今回3地区、来年度から設計と修繕工事の費用が3年ほど続くということか。

A R5年度4地区、R6年度3地区の予定で、R4年度に設計を行ったところはR5年度に修繕工事に入っていく予定。

Q 町民プールは修繕するのか、今後の予定は。

A プールの利用者が右肩下がりの状況であり、安価で来れるプールということで評判であったが、検討していく中で、R3年度予算ベースでいくと歳入39万円歳出760万余りの経費が掛かってくる中で検討していきたい。

考えている。来年度は土地取得のため土地収用法の事業認可を計画している。広さについては1反程度を考えている。

Q スケジュールは。

A 来年度、収用法の認定が下りれば用地取得、建築についてはR5年度を予定している。

Q 町民の人たちが平等に使えるようなボランティアハウスになるように使用基準を定めていただきたい。

A 設計はこれからなるため、部屋割りなどは今後になるが、誰でも利用できて、出入りしやすく、使っていく方が笑顔で過ごす施設が大事になるのでそれを目指していく。使用に当たってどういったことが必要かは検討していく。

Q 特定不妊治療等助成事業で、対象となる年齢が上がったが、今年10件分と大幅に下がっているのは実績に基づくものか。

A 件数が少なくなったのは、R4年度から不妊治療が健康保険の対象になったため、

Q クリーンセンター環境整備負担金とは。

A 四日市市環境クリーンセンター周辺の環境整備に係る川越町負担分。

Q クリーンセンターの外の環境を整えるのは四日市市の範囲ではないのか。

A 当初協定を結んでおり、地元対策費については、四日市、川越、朝日で負担している。

Q コンビニ交付手数料が倍になっているが、それだけ利用が増えたのか。

A コンビニ交付される方が増えているため前年に比べ84%ほど増額としている。使われている方が増えていると認識している。

Q ボランティアハウスのある場所や計画が分かれば教えてほしい。

A ボランティア拠点は、現段階で明確な場所は示せないが、条件としては、現在駐車場が不足しているため、停められる場所、福祉バスの停留所が近い役場周辺の土地で選定を

区分	議案番号	議案名 あ ら ま し	付託先	議決結果
条例改正等	議案第19号	川越町郷土資料館条例の廃止について 川越町郷土資料館の解体工事完了に伴い、当該施設の設置条例を廃止するもの。	教	可決
	議案第20号	議会の議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部改正について 期末手当の支給月数の引き下げを行うもの。	即	可決
	議案第21号	町長及び副町長の給料、旅費等に関する条例の一部改正について 期末手当の支給月数の引き下げを行うもの。	即	可決
	議案第22号	教育長の給与、勤務時間等に関する条例の一部改正について 期末手当の支給月数の引き下げを行うもの。	即	可決
	議案第23号	川越町職員の給与に関する条例の一部改正について 期末手当の支給月数の引き下げを行うもの。	即	可決
その他	議案第2号	工事請負契約の変更について [当新田雨水幹線整備工事]の変更で、契約金額を74万3,600円減額する。	即	可決
	発議第1号	ロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議する決議案	即	可決
報告	報告第1号	例月出納検査の結果報告について 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計 令和3年11月分・12月分・令和4年1月分	-	-
	報告第2号	定期監査の結果報告について	-	-

3月補正予算の概要

第1回定例会における、一般会計及び特別会計補正予算（歳出）の主な内容は下記のとおりです。

会計種別	補正金額	主な事業内容		
一般会計 (第8号)	7,843万8千円	人件費	△3,401万2千円	
		給食費無償化事業(私立保育園等)	54万2千円	
		各種基金への積立金	4億1,937万5千円	
		その他、事業の精査、実績等による	議会費	△351万1千円
			総務費	△2,279万3千円
			民生費	△6,219万5千円
			衛生費	△1,694万5千円
			農林水産業費	△809万0千円
			商工費	△1,373万4千円
			土木費	△8,323万9千円
消防費	△2,957万2千円			
教育費	△6,738万8千円			
国民健康保険特別会計 (第3号)	△861万2千円	人件費 事業の精査、実績等によるもの	△100万1千円 △761万1千円	
介護保険特別会計 (第3号)	423万5千円	介護給付費準備基金積立金 事業の精査、実績等によるもの	750万3千円 △326万8千円	
後期高齢者医療特別会計 (第1号)	642万2千円	保険料収入増に伴う、後期高齢者広域連合納付金の増額 事業の精査、実績等によるもの	735万6千円 △93万4千円	
公共下水道事業特別会計 (第3号)	72万8千円	事業の精査、実績等によるもの	72万8千円	

第1回 3月定例会

令和4年第1回定例会は、3月4日から17日までの14日間の会期で行われた。初日は、5人の議員が町長、教育長に対して一般質問を行い、続いて町長より議案18件の提案があり、審議後、1件を原案可決した。議案17件は、各委員会に付託され、審査することとなった。

最終日には、各委員会に付託された案件及び追加提案された議案4件、発議1件を全て原案可決した。

議案のあらまし (全会一致)

※付託先欄 総…総務建設常任委員会 教…教育民生常任委員会 予…予算特別委員会 即…本会議即決

区分	議案番号	議案名 あ ら ま し	付託先	議決結果	
令和4年度 予算	議案第8号	一般会計予算 予算総額は74億6,100万円。	予	可決	
	議案第9号	国民健康保険特別会計予算 事業勘定の予算総額は11億7,930万円。 診療施設勘定の予算総額は1億4,880万円。	予	可決	
	議案第10号	介護保険特別会計予算 予算総額は8億2,880万円。	予	可決	
	議案第11号	後期高齢者医療特別会計予算 予算総額は1億8,160万円。	予	可決	
	議案第12号	公共下水道事業特別会計予算 予算総額は9億870万円。	予	可決	
	議案第13号	水道事業会計予算	予	可決	
	令和3年度 補正予算	議案第3号	一般会計補正予算(第8号) 7,843万8千円を追加し、予算総額を75億8,487万4千円とする。	総・教	可決
議案第4号		国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 事業勘定において662万8千円を減額し、予算総額を11億9,900万7千円とする。 診療施設勘定において198万4千円を減額し、予算総額を1億3,722万円とする。	教	可決	
議案第5号		介護保険特別会計補正予算(第3号) 423万5千円を追加し、予算総額を8億3,491万5千円とする。	教	可決	
議案第6号		後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 642万2千円を追加し、予算総額を1億7,512万2千円とする。	教	可決	
議案第7号		公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) 72万8千円を追加し、予算総額を9億5,684万3千円とする。	総	可決	
条例改正等		議案第14号	川越町個人情報保護条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	総	可決
		議案第15号	川越町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について 非常勤職員を対象に育児休業及び部分休業を取得する際の在職期間要件の廃止と希望する全職員が育児休業を取得しやすい勤務環境の整備に関する措置を規程するもの。	総	可決
	議案第16号	川越町国民健康保険税条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正及び、国保財政健全化に向けた取組として、令和4年度以降の国民健康保険税率を改定するもの。	教	可決	
	議案第17号	川越町消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正について 消防庁から発出された非常勤消防員の報酬等の基準の策定を受け、当該条例の一部を改正するもの。	総	可決	
議案第18号	川越町消防団員等公務災害補償条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	総	可決		

常任委員会Q&A

総務建設常任委員会

◎ 令和3年度川越町一般会計補正予算(第8号)

Q 新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金と現年度法人税課税分の減額との関係は。

A 減収補填の対象は事業用家屋等の固定資産税が対象となるため、関係はない。

Q 後付け安全運転支援装置について、見込と実績は。

A 実績4件、見込10件。
Q 地籍調査の進捗率は。

A 24%くらい終わっている。県内で5番目の進捗となっており、伸び率にすると2番目。着実に進めることが大事だが県内では8市町中止している。

◎ 令和3年度川越町公共下水道特別会計補正予算(第3号)

Q 土木債について、早く借金を返してはどうか。
A 繰り上げ償還については、いろいろな前提条件があり、繰り上げ償還する方がかえって高くなるかと試算している。

教育民生常任委員会

◎ 令和3年度川越町一般会計補正予算(第8号)

Q 予防接種で、少なくともいるのはインフルエンザか。
A 予防接種の主な要因は成人男性の風疹の実績が少なかったことが主なものになる。

審査の内容及び結果

各委員会に付託された案件は、慎重審査を行い、全てを原案のとおり可決すべきものと決した。

モニターの皆さまからのご意見

議会だよりモニターの皆さまからいただいた第171号に対するアンケート調査の結果をご紹介します。

◎表紙について

- ・子どもの頃から親しんでいる鈴鹿山脈の夕焼けですが、あらためて美しいと思いました。
- ・提供頂いた写真を採用して表紙に使用しているのは良いと思います。選考はどのような形でを行っていますか？
- ↓フォト川越様より素材をいただき広報委員が選考しています。

◎議決結果・あらまし・補正予算の概要について

- ・分かりやすく記載しようというつもを考えて下さっていることが伝わります。
- ・いつもより字が大きく見やすかったです。

◎常任委員会Q&Aについて

- ・「みえ森と緑の県民税市町交付金」の事が良く分かっています。良い資料はありますか。
- ↓これは、「災害に強い森林づく

◎モニターの皆さまからのご意見について

- ・色んな人からの意見を知ることができて共感できることも多く、とても好きなページです。
- ・薄いオレンジの下地に薄いオレンジの文字が少し見にくいように感じました。

1月臨時会

令和4年第1回臨時会が1月20日に行われた。町長より議案1件の提案があり、審議後原案可決した。

議案のあらまし(全会一致)

議案番号	議案名	議決結果
議案第1号	一般会計補正予算(第7号) 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が速やかに生活、暮らしの支援が受けられるよう、住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対し、一律10万円の現金を給付する臨時特別給付金事業に係る扶助費等の関連経費1億9,145万1千円を追加し、予算総額を7億5億643万6千円とする。	可決

臨時会Q&A

Q 家計急変世帯というのは、どのような定義で、どのような人か。

A 家計急変世帯とは、これまでは一定の収入があり、町民税均等割が課税されている世帯であっても、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて家計が急変し、直近の収入減少により町民税均等割が非課税相当とみなされる世帯。その世帯の生活、暮らしを支援する観点から支給を行う。

Q その家計急変世帯というのは、どのようにわかるのか。自己申告になるのか。

A 家計急変世帯については、あらかじめ把握することができないため、自分で申告することになる。そのため周知を広く行う。まず広報紙、ホームページ、CNetによる周知、それに加えて、家計が急変するということは生活困窮に陥る可能性があるため、その場合に相談に行く社会福祉協議会において周知を行う。また、朝明商工会の会員の方への周知を行う。

↓ご指摘いただき、ありがとうございました。

◎一般質問について

- ・防災、教育、コロナ対策、交通安全等について色々と学ぶことができました。
- ・町議の方々の質問事項や考え方がしっかりと述べられているので、川越町内の問題点について引き続き情報共有や改善についてよろしく願います。

◎まちの元気な人について

- ・前向きになる記事で好きです。
- ・町の元気な人楽しみにしています。いろいろな人を発掘してください。

◎自由記述

- ・「一般質問」は、いつも分かりやすく良いです。「問いと答え」という形式がわかりやすさに繋がっていると思います。
- ・文字が詰め込みであるイメージだったが、今回は程良く間隔があり、良くなってきていると嬉しいです。

議会映像配信事業

新規事業の議会映像配信は、6月議会より実施の予定です。リアルタイムでの映像配信ではありませんが議会閉会后、町のホームページの議会欄より、3週間以内には配信の予定です。これにより議会の当日に傍聴に来られない人でも後日、ご自宅でご覧になることができます。議員の一般質問や行政の回答も見られます。

私たち議員も一生懸命質問しています。ご視聴ください。お気軽にご意見をお寄せください。お待ちしております。



ご意見お待ちしています

川越町議会が以下の決議案を 全会一致で可決!!

発議第1号

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議する決議案
川越町議会会議規則第14条の規定により提出します。

令和4年 3月17日 提出
3月17日 可決

提出者	川越町議会議員	柳 川 平 和
賛成者	〃	伊 藤 勝 也
	〃	安 藤 邦 晃
	〃	早 川 光 男

※賛成者とは、発議提出に必要な賛成者です。

ロシアによるウクライナ軍事侵攻に抗議する決議

我が国を含む国際社会が強く自制を求める中、ロシアは、本年2月24日、ウクライナへの軍事侵攻に踏み切った。

ロシア軍によるウクライナへの侵攻は、力による一方的な現状変更を認めないとの国際秩序の根幹を揺るがすとともに、ウクライナの主権と領土の一体性を侵害する明白な国際法・国連憲章違反であり、断じて容認することはできない。

川越町は昭和63年に非核平和都市宣言を行い、核兵器の廃絶と世界恒久の平和を強く願ってきた。川越町議会としても、今回のロシアによるウクライナへの軍事侵攻に対し強く抗議するとともに、軍の即時撤収、国際法の順守を強く求める。

また、政府におかれては、関係各国及び国際社会との緊密な連携のもと厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求める。

以上、決議する。

令和4年3月17日

川越町議会

ご意見募集

私たちは開かれた議会を目指しています。一般の方の議会に対するご意見を募集しています。

議会では、毎月1回議員協議会（町長など、役場の職員が入らない議員だけの会議）を開催しています。各常任委員会や広報委員会、子ども議会担当などの報告と意見交換をしています。

また今回のような聖籠町と協議してきた提言書についても話し合います。議員からの議案の提出もあり、議員同士で忌憚のない意見交換をします。

議会に対するご意見があれば提出していただき、この議員協議会でまず精査して検討いたします。

お気軽にご意見をおよせください。お待ちしております。

聖籠町議会と 友好交流都市協定を 促進します



リモート会議の様子

新潟県聖籠町と当町は平成29年に友好交流都市協定を締結したが、新型コロナウイルスの影響もあり、お互いに有効に活用されていなかった。そこで教育民生常任委員会にて、聖籠町議会総務文教常任委員会とリモートにて交流の方向性について協議してきた。その結果、お互いに提言書を町長に提出し、改めて町民のみなさんも一緒に相互の交流を深め、協定の促進することになった。

今回提出する提言内容は左記の通りです。

【提言内容】

- ①教育・子育てにおける交流促進及び支援
 - ②スポーツ・芸術文化における交流促進及び支援
 - ③産業における交流促進及び支援
 - ④町民が自発的に企画する交流事業への支援
 - ⑤両町民に向け友好交流都市協定に基づく交流内容を具体的に広報
- 以上5点を提言するにあたり、

新型コロナウイルス感染症対策が必要な昨今の状況において、県をまたぐ移動が必要な対面での交流は困難であることから、インターネットを活用したりリモート交流の取り組みを優先し、感染状況の落ち着きと共に活動範囲を拡大していきます。

最後に、交流事業の計画・実施については、行政単独で取り組むものではなく、聖籠町議会及び川越町議会も協働で交流事業の実現に取り組みます。

友好交流都市協定書

三重県三重郡川越町と新潟県北蒲原郡聖籠町は、豊かな自然と産業の調和など、その趣を同じくするまちであり、相互の信頼を礎に始まった交流は、その機運が高まっている。

両町は、これまでの友好親善を未来へ繋げるため、ここに友好交流都市の協定を締結する。

行政活動はもとより、教育、福祉、芸術文化及びスポーツなど幅広い分野における交流を深化・拡大させ、互いの理解と連携を一層強固にすることで、両町の発展に努めるものとする。

平成29年8月5日

三重県三重郡川越町長 新潟県北蒲原郡聖籠町長



平成29年に締結した友好交流都市協定書



提言書提出の様子

南海トラフ地震臨時情報発表時の町の対応は

津波浸水想定区域を高齢者等事前避難地域に指定する (町長)



安藤 邦晃 議員

問 町長 「巨大地震警戒」が発表された場合の町の対応は。

答 町長 高齢者等避難を発令し、1週間を基本とした避難行動を促し、それ以外の町民等に対しては、地震への警戒、必要に応じて津波浸水想定区域外の安全が確保される知人宅や指定避難所への避難を呼びかける。同時に

再 東日本大震災以降「想定外をなくして災害に備えよう」というのが防災の考えになっている。大切な命を守るためには事前にリスクがあるときちんと伝えることは行政の責務だと考える。

問 三重県の住民事前避難対象地域の設定は。

答 町長 亀須・亀崎地区に津波避難タワーが整備されたことにより、津波到達までに避難場所を確保できたため、住民事前避難対象地域は設定しないが、津波浸水想定区域を高年齢者等事前避難地域に指定する予定である。

再 川越町総合体育館や亀崎公民館を開設する。

再 東日本大震災以降「想定外をなくして災害に備えよう」というのが防災の考えになっている。大切な命を守るためには事前にリスクがあるときちんと伝えることは行政の責務だと考える。

再 川越町総合体育館や亀崎公民館を開設する。



亀須・亀崎地区津波避難タワー

再 川越町総合体育館や亀崎公民館を開設する。

再 東日本大震災以降「想定外をなくして災害に備えよう」というのが防災の考えになっている。大切な命を守るためには事前にリスクがあるときちんと伝えることは行政の責務だと考える。

再 川越町総合体育館や亀崎公民館を開設する。

学校給食について

給食費の無償化は、現在は考えていない(教育長)

問 給食の残食量と残食率は。残食の処理はどうしているか。

答 教育長 毎月「給食だより」を発行し、その中で食べる機会について考える機会を設け、また小学校家庭科の「持続可能な社会を生きる」という学習の中で、生活の中にある「もったいない」を見つけて、どうすれば無くすることができるか考えさせている。

問 食品ロスに対する教育は。

答 教育長 「人数分を正確に作る」「配膳時間を短くする」「よく噛んで食べる」「振り返る」の4つの柱で取り組みを進めている。

問 残食量を減らす取り組みは。

答 教育長 5日間の残食量を計測したところ平均で7・6kg、残食率は1・9%となった。残食は汁物とそれ以外に分けて給食センターへ返却し、その後、環境クリーンセンターで草と混ぜて発酵させ、堆肥として使用される。

問 給食費無償化の考えは。

答 教育長 現在、全国的に給食費の完全無償化を実施している自治体は少なく、現時点では有償を継続していくが、今後、近隣市町等の動向にも注視していきたい。

問 完全完食指導をきっかけに不登校や体調不良になった園児や児童を把握しているか。

再 完全完食指導をきっかけに不登校や体調不良になった園児や児童を把握しているか。

再 完全完食指導をきっかけに不登校や体調不良になった園児や児童を把握しているか。

問 牛乳を飲まない児童はいるか。飲まない牛乳は持ち帰ったりするのか。

答 教育長 アレルギーや牛乳を飲むことによりお腹の調子が悪くなる等の理由から飲まない児童は数名いる。その分は発注を止めている。余った牛乳は、衛生上の問題から持ち帰ることはしない。

問 学校教育課長 現段階ではないと認識している。食べ始める前に、自分の体調や苦手なものを確認した上で、自身が食べられると判断した量に、自ら調整している。

再 完全完食指導をきっかけに不登校や体調不良になった園児や児童を把握しているか。

3月定例会 一般質問

※一般質問とは…町の事務の執行状況や将来に対する考え方などの報告・説明を求め町政運営が適切かチェックするもの

5人の議員

ここが聞ききたい

● 安藤 邦晃 議員 ……15

- ・南海トラフ地震臨時情報発表時の町の対応は
- ・学校給食について

● 早川 茂樹 議員 ……16

- ・川越町新型コロナウイルス感染症防止等対策費用補助金の結果は
- ・町内事業者に向けた今後の支援策は

● 山下 裕矢 議員 ……17

- ・マイナンバーカード運用の今後は

● 柳川 平和 議員 ……18

- ・誰一人取り残さない避難はどうするのか
- ・高齢者健康器具の利用状況は

● 片山 庄平 議員 ……19

- ・2050年CO2排出ゼロに向けた当町の取り組み、施策は
- ・CO2排出ゼロ宣言表明市町村への参加は

マイナンバーカード運用の今後は

まだまだ導入事例が少ない状況で、事例を収集しながら一体化を検討していく(町長)



山下裕矢 議員

問 町長 既に開始しているサービスのほか、令和6年度には運転免許証との一体化や国外へ転出された方も利用可能となるサービスなどが予定されており、広報かわごえや町ホームページ、行政情報番組や庁舎内に設置しているデジタルサイネージ※等を活用して啓発

答 町長 現在の情報発信として申請方法の資料がほとんどで、今後もこのままの発信体制でよいのか。

問 町長 当町のマイナンバーカード交付状況は、1月末現在で、6,346枚、率にして41.65%。

問 町長 現在の情報発信として申請方法の資料がほとんどで、今後もこのままの発信体制でよいのか。

答 町長 資料の中に市区町村にて提供する様々なサービスとあるが、川越町独自のサービスはあるのか。

問 町長 資料の中に市区町村にて提供する様々なサービスとあるが、川越町独自のサービスはあるのか。

答 町長 ※デジタルサイネージとは、ディスプレイなどの電子的な表示機器を使って情報を発信するメディアのこと。

問 町長 川越タウンカードなど今後マイナンバーカード一本化に進むのか。また、町職員の職員証のマイナンバーカードの考えは。

答 町長 カード一本化については、普及状況によるが、今後、町が発行しているカードも一体化できるのではな

問 町長 川越タウンカードなど今後マイナンバーカード一本化に進むのか。また、町職員の職員証のマイナンバーカードの考えは。

答 町長 カード一本化については、普及状況によるが、今後、町が発行しているカードも一体化できるのではな

問 町長 川越タウンカードなど今後マイナンバーカード一本化に進むのか。また、町職員の職員証のマイナンバーカードの考えは。

再 町長 最新情報は、どのようなものがあり、広報かわごえ、ホームページ、行政番組以外に啓発の考えは何かあるのか。

答 町長 この3月に発行の広報かわごえにマイナンバーカードの「使いみち」に関する記事を掲載しており、具体的には、カードが、

再 町長 最新情報は、どのようなものがあり、広報かわごえ、ホームページ、行政番組以外に啓発の考えは何かあるのか。

答 町長 この3月に発行の広報かわごえにマイナンバーカードの「使いみち」に関する記事を掲載しており、具体的には、カードが、

再 町長 最新情報は、どのようなものがあり、広報かわごえ、ホームページ、行政番組以外に啓発の考えは何かあるのか。

答 町長 この3月に発行の広報かわごえにマイナンバーカードの「使いみち」に関する記事を掲載しており、具体的には、カードが、

再 町長 最新情報は、どのようなものがあり、広報かわごえ、ホームページ、行政番組以外に啓発の考えは何かあるのか。

答 町長 この3月に発行の広報かわごえにマイナンバーカードの「使いみち」に関する記事を掲載しており、具体的には、カードが、

川越診療所に設置されている読み取り機



早川茂樹 議員

川越町新型コロナウイルス感染症防止等対策費用補助金の結果は

1月31日現在では66件、補助金額としては287万円であった(町長)

問 町長 本年度9月補正で、事業者に向けた新型コロナウイルス感染症拡大の予防対策として、1,000万円の予算で事業化されたが、その補助金の利用実績は。

答 町長 当初の受付期限である1月31日現在では、66件、補助金額としては287万円であった。現在は3月25日まで受付を延長している。

再 町長 四日市では、同様の事業が事業者により好評で執行率も100%だった。当町も四日市が行ったように消耗品を対象にするなどの利便性を高めれば利用も増えると考えますが、今後そのような考えはないのか。

再 町長 同様の事業が事業者により好評で執行率も100%だった。当町も四日市が行ったように消耗品を対象にするなどの利便性を高めれば利用も増えると考えますが、今後そのような考えはないのか。

再 町長 同様の事業が事業者により好評で執行率も100%だった。当町も四日市が行ったように消耗品を対象にするなどの利便性を高めれば利用も増えると考えますが、今後そのような考えはないのか。

再 町長 同様の事業が事業者により好評で執行率も100%だった。当町も四日市が行ったように消耗品を対象にするなどの利便性を高めれば利用も増えると考えますが、今後そのような考えはないのか。

町内事業者に向けた今後の支援策は

朝明商工会と連携を図りながら事業者の実態に即した支援を検討していく(町長)

問 町長 事業者に対する支援は、四日市が四日市市中小企業等地域経済応援支援金として、三重県地域経済応援支援金の支給を受けた事業者に対して同額を上乗せして支給する支援策を行った。また、朝日町も三重県飲食店時短要請協力金を受けて、朝日町飲食店舗等応援給付金として、20万円の上乗せ支給を行っている。

再 町長 事業者の実態を把握するため今後どのような働きかけをしていくのか。

再 町長 事業者の実態を把握するため今後どのような働きかけをしていくのか。



サーマルカメラ検温計

再 町長 事業者の実態を把握するため今後どのような働きかけをしていくのか。

再 町長 事業者の実態を把握するため今後どのような働きかけをしていくのか。

再 町長 事業者の実態を把握するため今後どのような働きかけをしていくのか。

誰一人取り残さない避難はどうするのか

津波避難タワーの整備や津波避難ビルの指定を進めている (町長)



柳川 平和 議員

問 発災したとき
はまず自助だが、
誰一人取り残さないた
めにどのような方策を考
えているのか。

答 町長
どのような行
動をすれば助かるかを
常日頃から考え、家族
や友人たちと話し合い、
確認しておくことが必
要。そのためにハザード
マップや防災ガイド
ブックを作成し、配布
している。また特定避
難困難地域をなくすた
め、津波避難タワーの
整備や津波避難ビルの
指定を進めている。

に逃げるのが最優先。
何らかの事情ですぐに
避難できない方や避難
行動要支援者の方など
津波到達までに津波浸
水区域外に避難できな
い場合に指定避難場所
に逃げる。

再 避難場所が公
民館の場合、地
震で〇が付いている。
津波で×になっている。
このハザードマップは
南海トラフを想定して
いると思う。この矛盾
はどうなるのか。

答 安全環境課長
地震の規模に
もよるが一応避難して
も良い。

再 防災担当監と
いった専門知識
を持った人がいて、コ
ーディネーターとして
防災、減災を担当して
整合性を持った正しい

答 町長
まず高台

問 ハザードマッ
プ記載の指定避
難場所はどういう
状況の時に避難す
るのか。



片山 庄平 議員

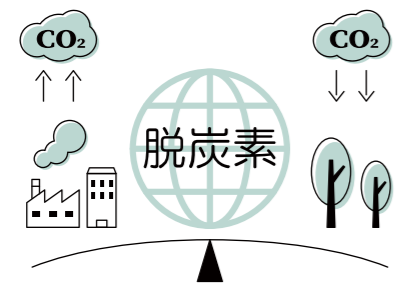
国としては、2
050年カーボン
ニュートラル宣言
を表明、県では
「ミッションゼロ
2050みえ」と
して取り組みを決定、県
内自治体では3市7町
がCO2排出ゼロ表明、
また桑名市ではPPA
事業の公募を開始、四
日市市では産業の性質
上CO2排出が多く困
難と思われる石油化学
コンビナートが温室効
果ガスゼロ本格始動と
近隣の状況。

問 当町において
のCO2排出ゼ
ロへの取り組み、施策は。

答 町長
公共施設の大
規模改修時、環境負荷
低減するような設備の
導入、公用車に次世代
自動車を導入に取組む。

再 公共施設の大
規模改修時など
における環境負荷低減
するような設備の導入
に取り組むとの答弁、
川越中学校建替えに当
たっては。

答 学校教育課長
設計を委託す
る事業者の選定段階、
決定後前向きに取組む。



CO2排出ゼロ宣言表明市町村への参加は

時代の潮流に乗り遅れる事なく検討 (町長)

答 副町長
町民目線に立
情報は町民に発信する
には必要と思うがどう
か。

った防災マップを作る
考えでいる。今のところ
防災担当監を設置す
る予定はない。

問 利用度と評判
は。

答 町長
簡単でいいの
で散歩の途中でやって
みたいとの評判だった。
利用者数は把握してい
ない。

問 この器具をど
のように推進し
ていくのか。

答 町長
令和4年度は、
介護予防事業の一環と
して運動機能向上につ
いて健康器具を使った

問 2050排出
ゼロ宣言表明市
町村への参加は。

答 町長
新たなまちづ
くりを進める必要があ
るため民間事業者や関
連する課などと協議し
ながら時代の潮流に乗
り遅れる事なく検討し
ていく。

再 CO2排出ゼ
ロへ「新たなま
ちづくりを進める必要
がある」との事だが具
体的には。

答 安全環境課長
再生可能エネ
ルギーによる電気の地
産地消、一般住宅等省
エネ性などの住宅性能
の効率化、ごみの減少
化による環境負荷の低
減、自転車シェアリン
グなど環境エネルギー

運動も取り入れていく。
高齢者だけでなくより
広い世代の方にも利用
できるようにしていく。

再 この事業評価
をPDCA※で
きちっとして事務事業
評価シートを作って活
かさないと次につなが
らない。第7次総合計
画の中にはこの事業は
入っていないがどうか。

答 福祉課長
記載されてい
ないが介護予防や高齢
者の健康増進の中で使
用することは、関係課
の中で認識している。

※Plan(計画) ↓
Do(実行) ↓
Check(評価) ↓
Action(改善) ↓
のサイクルを繰り返
し行うことで継続的
な業務改善を促す技
法

と経済の観点から再構
築されたまちと考えて
いる。

